

海老名災害ボランティアネットワークだより



令和3年12月1日発行 第38号

発行 海老名災害ボランティアネットワーク（略称：海老名災ボラ）
事務局 海老名市めぐみ町6-3、福祉会館・海老名市社会福祉協議会気付
ホームページアドレス <http://www.ebina-saibora.net/>

地震災害・風水害に備えて、防災・減災活動を再開していきましょう！

2020年～21年は、新型コロナウイルス感染症が全国に拡大したために、風水害や地震災害など自然災害に対する「防災・減災訓練」は活発には実施されておりません。最近、関東・東北地方で、たびたび地震が起こっています（震度6弱もあった）。新型コロナウイルス感染症対策（マスク着用、手指の消毒、「密閉・密集・密接」を避ける行動など）を実施した上で、防災・減災活動をしっかり実施していきましょう。

（裏面）海老名市災害ボランティアセンターの設置・運営に向けて

上今泉連合自治会主催「防災フェス21」12月5日（日）10時～13時

『もしもの時に今できること』



○上今泉連合自治会（会長：栗山明郎、上今泉1丁目～6丁目）では、コロナ対策（マスク着用、手指の消毒など）を厳守した上で、「防災フェス2021」を実施します。

○海老名災ボラは、この防災フェスに協力・参加します。

○上今泉地区以外の市民も見学できます（自治会関係者など）。

日時：2021年12月5日（日）10時～13時、

会場：上今泉コミュニティセンター

内容：

1. 地震の揺れ体験（起震車）、煙（けむり）体験、消火器訓練、あわてずに行動する
2. ハザードマップ（風水害・地震）を知ろう！ 海老名市一上今泉地区
★「地域の防災パトロール」と「過去の災害のDVD」から学ぶ「自助・共助」
3. 風水害への備え：マイタイムライン作成、避難行動、避難所など
4. 地震災害の備え：耐震補強、家具転倒防止/ガラス飛散防止、通電火災防止・災害時照明
5. 災害に備えた水・食料の備蓄と災害食の作り方、災害時のトイレ対策

協力団体：海老名市関係（危機管理課、地域づくり課、消防署）、消防団第七分団、
海老名市社会福祉協議会、海老名災害ボランティアネットワーク

「災害ボランティアセンターの設置・運営」を進めています

海老名が被災地になった場合、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぎながら、どのように災害ボランティアセンターを設置・運営するかについて、社会福祉協議会を中軸に、危機管理課、海老名災害ボラ（海老名市防災関係3者）が集まり、定期的に情報交換と検討を進めてきました。



2021年11月9日（火）には、海老名市防災関係3者に加えて、海老名市災害ボランティアセンターの設置場所に予定されている海老名市文化会館、市総合福祉会館などの関係者も参加して、文化会館で災害ボランティアセンターのレイアウトなどについて、「現場での検討会」を実施しました。

討論の中で活発な意見が出されました。2020年に入ってから九州地方での豪雨災害で、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、地元の社会福祉協議会を中軸にして災害ボランティアセンターが設

置・運営されました。ここでは、インターネットやメールなどを活用し、ボランティア募集・受付なども含めて、オンラインでの災害ボランティアセンター運営が進展しています。

海老名市が大規模災害の被災地なった場合、災害ボランティアセンターが設置されます

災害ボランティアセンターは「被災者の要望」と「ボランティアの活動」を結びつける役割を持つ組織です。公共施設などは国や県・市町村が復旧復興を実施します。被災した民間の復旧復興は、原則として「自助」・「共助」となっています。被災した市民の住宅などは、海老名市災害ボランティアセンターに連絡し、ボランティア派遣を要請することができます。また、ボランティアとして海老名の被災者支援活動に参加する方は海老名市災害ボランティアセンターへの申込をお願いします。

海老名災害ボランティアネットワーク 会員募集中！

海老名災ボラでは、次の3本の柱を軸に、様々な活動を行っています。

- ①市民の災害対応力（「自助」・「共助」）を高める活動
- ②海老名が被災地となった時に「災害救援ボランティア・コーディネーター」としての活動
- ③大規模災害が発生した場合に被災地被災者支援のボランティア活動への参加



問い合わせ：海老名災ボラ代表（石橋友晴）まで

メールアドレス：ti.226.gejimon@gmail.com

スマートフォン：090-6795-3244

申込書：海老名災ボラのホームページの中にあります。

申込書提出先：海老名災ボラ代表（石橋友晴）まで